別所地区

第２期計画の振り返り（平成 22～27 年度）

☆微笑(ほほえみ)が絶(た)えない　ほっとする故郷(まち)

必要な人に必要な福祉保健情報を届けるために・・・

【成果】

・読者の期待を確認するためのアンケート調査を行いました。
・編集委員会で内容を協議し、福祉保健情報に限定せず学校の取組や施設紹介など、身近な地域情報を掲載しました。
・配布方法を回覧から全戸配布へ拡大しました。

ふくし別所

【今後に向けて】

・町内会の取組や地域で活動する団体の紹介など、様々な地域の取組を発信します。
・地域防災拠点での要援護者支援の取組を伝え、支えあいの仕組みづくりを検討します。
・広報紙を通じて地区社協活動への理解を深め、地域の施設や各団体とのつながりを深めます。

地域の中で顔の見える関係を作るために・・・

【成果】

・「別所の歴史懇談会」を通じて異世代交流を図りました。
・地区社協の活動を小中学校へ発信し、連携方法を検討しました。

別所の歴史懇談会

【今後に向けて】

・小中学校の福祉教育や地域活動の取組を地区社協活動とつなげて、様々な世代が交流できる機会を増やします。
・防災訓練など誰もが参加できる行事を実施し、隣近所が交流できる場をつくります。

支援が必要な人と支援できる人をつないで、地域の支えあいを広げるために・・・

【成果】

・休止していた高齢者食事会を復活させ、年２回開催しました。
・ボランティア活動に関するアンケートを実施し、要支援者のニーズを確認しました。
・他地区の有償ボランティアの取組を視察しました。
・新たな担い手を発掘するため、男性向け講習会「ゼミナール男塾」を開催しました。
・在宅高齢者や障がい者の生活支援を目的に有償ボランティアグループ「スマイルサポート別所」の活動をスタートさせました。

スマイルサポート別所

【今後に向けて】

・様々な世代が担い手として活躍できる仕組みを検討します。
・高齢者や障がい者が身近な場所で集えるよう、交流の機会を増やします。
・地域の人材を活用し、支援が必要な人を支えるための取組を検討します。

子育て世代を支えるために・・・

【成果】

・連合町内会と連携し、子育て世代と高齢者が交流できる三世代サロン「サロンぬくもり」の支援をしました。
・「サロンぬくもり」の会場を増やし、土曜日に開催することで、男性（パパ）が参加しやすくなりました。

サロンぬくもり

【今後に向けて】

・学校や子供会などと連携し、地域交流を図ります。
・地域で活動している子育てサークルなどを支援します。
・子育て世代だけでなく、高齢者も気軽に集い交流できる場を増やし、より多くの住民が参加できるよう工夫します。

別所地区

第３期計画（平成 28～32 年度）

地域の特色

（データ＝平成 26 年 9 月末日現在）

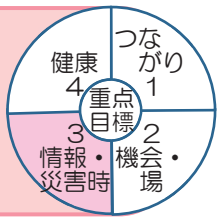
港南区に隣接する傾斜地に、地形に沿うように形成された複雑な細街路網を持つ戸建て住宅地区です。

地区人口＝約9,000人
年少人口比率＝11.8%
高齢人口比率＝23.3%
総世帯数＝約4,200世帯
平均世帯規模＝約2.1人

微笑（ほほえみ）が絶（た）えない　ほっとする故郷（まち）

暮らしに役立つ地域の情報を広く届けるために・・・

５年後の将来像：広報紙を通じて地区社協活動への理解が深まり、身近な地域の情報紙として様々な世代に読まれている。

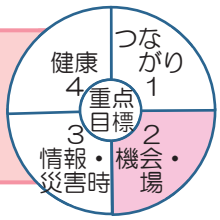


具体的な取組等

・福祉保健情報に限定せず、生活に必要な情報や活動をタイムリーに発信します。
・町内会などの関係団体や学校との連携を深め、幅広い世代から読まれる広報紙をつくります。
・防災に関する情報や地域特有の課題を発信することで住民の防災意識を高め、災害時に隣近所で支えあえる関係を目指します。

地域の中で顔の見える関係をつくるために・・・

５年後の将来像：地域の各団体が協力することで交流の機会が増え、隣近所で声をかけあえる地域になっている。

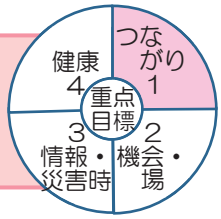


具体的な取組等

・「別所の歴史懇談会」を通じて学校との交流を深め郷土愛を育むとともに、地域の異世代が日常的に声をかけあえる関係を目指します。
・学校と協働するなど、誰もが気軽に参加できる地域活動を通して参加者を増やします。
・情報共有・課題共有の場を設定し、町内会や地域で活躍する各団体との連携を深め、交流の機会を増やします。

高齢者や障がい者の生活を地域で支えるために・・・

５年後の将来像：地域の支えあい活動が活発になり、より暮らしやすい地域になっている。

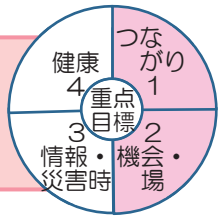


具体的な取組等

- 有償ボランティアグループ「スマイルサポート別所」の活動を通して、支援が必要な人を支えます。
- ボランティアの裾野を広げるため研修や講習会を開催し、新たな担い手が活躍できるよう支援します。
- 高齢者の食事会や集いの場をつくり、外出や交流の機会を増やします。また、参加できない方への支援も検討します。
- 施設や商店などと連携し、支援が必要な人を地域で見守る体制をつくります。
- 学校や施設・企業・商店と防災について話し合い、災害時には協力し合う関係をつくります。

子育て世代を支えるために・・・

５年後の将来像：地域住民の見守りを受けながら、安心して子育てできる地域になっている。

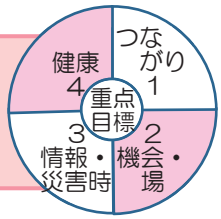


具体的な取組等

- 行事やイベントを通して、子育て世代が地域で交流できる機会を作ります。
- 子育てに関する情報提供や相談できる場所を作り、育児の負担軽減を図ることで孤立を防ぎます。
- 地域の子育てグループや既存の活動との連携を図ります。
- 広報紙等を活用して子育てに関する情報を発信し、地域行事への参加を呼びかけます。

住み慣れた地域で健康で長く暮らしていくために・・・

５年後の将来像：健康づくりへの意識が高まり、身近な場所に活動できる場が増えている。



具体的な取組等

- 身近なところに集う場所をつくり、より参加しやすい環境を整えます。
- 地域の指導員・推進員等と協力し、介護予防などの講座を通じて住民の健康づくりへの関心を高めます。
- 参加者が継続して参加し親睦を深められるよう、多くの人が楽しめる内容を検討します。